

本日のプログラム

2023年9月13日(水)
通算第3051回例会
本年度第8回
瀬戸商工会議所
例会次第

- ・開会点鐘
- ・「日も風も星も」
- ・出席状況
- ・会長挨拶
- ・行事
- ・祝福
- ・幹事報告
- ・委員会報告
- ・その他の報告
- ・卓話 東尾張分区ガバナー補佐
津坂 守英君
「ガバナー補佐訪問に因んで」

前回例会 記録

- ・2023年9月6日第3050回例会
- ・場所 瀬戸商工会議所
- ・出席報告 54名 出席会員 38名
当日出席率 79.16%
- ・行事
米山奨学生クエンさんに奨学金授与
- ・本人誕生日
一山 清二君
- ・卓話
大澤 英雄君
「建てるお墓継ぐお墓」

例会予定

9月20日(水)
休会

9月27日(水)
花田 薫君 一山 清二君
「新会員の卓話」

10月4日(水)
米山奨学生 ドティホンクエンさん
「ベトナムの秋」

10月11日(水)
ガバナー公式訪問
【ホスト:瀬戸 RC】
於:ホテルメルパルク名古屋
第2760地区ガバナー
酒井 法文君
「ガバナー公式訪問に因んで」

歓迎

東尾張分区ガバナー補佐 津坂 守英君



第3050回例会 会長 青山 稔君 挨拶

皆さんこんにちは。本日は 第3050回 本年度7回目の例会です。

本日のゲストをご紹介致します。米山奨学生 ドティホンクエンさんです。後程奨学金の授与とご挨拶をいただきます。

さて、早いものでもう9月に入ってしまった。9月は【基本的教育と識字率向上月間】です。ベテラン会員様に対しては、釈迦に説法になると思いますが、若い、在籍年数の浅い方々に漠然とお聞きいただければと思います。私も瀬戸 RC のメンバーとして20年在籍していますが、基本的教育と識字率向上に関して何か特別なことをしたか？と自問しますが、何か特別なことをした感覚がありません。

ロータリーは世界的な組織であります。その世界的な組織であるロータリーには重点分野の基本方針というものがああります。そのうちの一つが「基本的教育と識字率向上」です。

我々の年会費の中からロータリー財団に寄付しているお金、一部の方々からいただいております特別寄付のお金はその財源になっており、いろいろな形で支援されています。

読み書きのできない15歳以上の人の数は、世界で約7億7500万人と言われております。

これは、世界人口の成人の17%に当たるそうです。(6人に1人)しかも、学校に通っていない子供は世界に6700万人いるといわれています。地域社会が自力で学校を支え、教育における性差別を減らし、成人の識字率を高められるよう支援することが目標と



されています。読み書きを教えることは、一生使えるスキルを教えることです。その恩恵は、一人、また一人と地域全体に波及します。これが、【基本的教育と識字率向上】の考え方があります。頭の片隅に置いておいて頂ければと思います。

さて、先日6月18日に、第32回ウェルフェアボウリング大会が開催され、後援のお礼状が届きました。

「ウェルフェアボウリング大会とは、いろいろな障害を持つ人達が、気軽にできるボウリングを通して、共に学び、共に活動し、共に生きる喜びを学ぶ大会です。今後もこのような支援が続けていければいいなと思います」

さて、本日は大澤英雄君に【建てるお墓・継ぐお墓】という演題で卓話を頂きます。大澤君の卓越した話術での緩急剛柔(かんきゅうごうじゅう)を兼ね備えた卓話を楽しみにしております。

今日の挨拶はこれくらいにさせていただきます。

本日も宜しくお願ひ致します。

大澤 英雄君 「建てるお墓継ぐお墓」



お墓と言うと縁起が悪いとか死とかあの世とかそう思われる方もいらっしゃると思いますが、実はお墓、仏壇等のご先祖に対する供養をすることで徳を積み死後、極楽浄土へ導かれると言われていました。今日はその辺のお話と、数年間牧さんの所のラジオサンキューで番組をやらせていただいていた時のリスナーの方の意見やお悩みなども含め、最近のお墓事情と葬送の変化についてお話をさせていただきます。

昔は人が亡くなれば必ずお墓を建てました。個人墓、家族墓などです。ですからお墓を建てるのか、現在あるお墓の守をする、いわゆるお墓を継ぐかという 2 択でした。しかし近年とくにコロナ禍になってからでしょうか増えてきたのが、お墓を建てない、お墓をなくすといったことです。さまざまな事情があるとは思いますが、今日はいわゆる埋葬(納骨)の仕方の変化についてお話ししたいと思います。

過去、一年以内にお墓を購入した人のタイプ別の割合は一般的なお墓が 55%、納骨堂 21%、永代供養(合葬墓)16%、樹木葬 8%です。基本的には一般的なお墓が多いですが、今後の需要としては永代供養塔等の合葬墓を希望される方が増えています。

まずは一般的なお墓を選んだ人の理由は？先祖代々してきたことを継承する。死後お墓に入るのは当然といった考えです。他のお墓を選ぶ理由は後継者問題や費用の問題です。また最近では「あの世離婚」といった死後配偶者と同じお墓に入りたくないとおっしゃる方も増えています。特に女性の割合が高いです。

では人はなぜお墓を建てるのかについてです。7万年前、ネアンデルタール人が死者に花を手向けていたことが考古学で明らかとなっています。これがお墓の原点ではないでしょうか。従ってお墓は習慣や慣習で建てるものではなく、人の心に自然に発生する人類の証とも言える死者への哀悼、追憶の心、仏教でいうところの供養の心によって

建て続けてきたのです。

供養とは供給資養の略です。亡くなった人の霊にお供えをし、敬意を払い、冥福を祈ると共に、自分の心を養うこと。亡くなった人の菩提を弔い、それを契機に生きている人が自分の生き方を振り返り仏の心を持って人生を送ること。それがまた亡くなった人への最大の供養となります。供花・香典・供物を捧げることも、卒塔婆や墓石を建てることも、お葬儀や法事を行うことも、全てご先祖の供養の為です。日本人の心イコール供養の心といえるでしょう。

日本には先祖供養の大きな行事が二つあります。お盆とお彼岸です。お盆はサンスクリット語の「ウラバンナ」の音写です。意味は逆さ吊りにされたような苦しみです。それは目蓮尊者というお釈迦様のお弟子さんが、亡くなった母親が餓鬼道に落ち、逆さ吊りにされて苦しんでいることを神通力で知り、どうしたら救えるかをお釈迦様に尋ねた。お釈迦様は 7 月 15 日の修行が済んだ後、出来るだけたくさんのお供物を招き、多くの供物を捧げて供養すれば救われると説いた。教えに従ったところ、その功德によって母親が極楽往生を遂げられたという故事から、1400 年前、推古天皇の時からお盆の行事が行われるようになりました。以来旧暦の 7 月 15 日はご先祖の霊を家に迎えて供養する大切な日となりました。次にお彼岸です。お彼岸は現在生きているこちら側の世界を此岸、極楽浄土の向こう側の岸を彼岸と言います。春分と秋分の中日を挟んだ前後三日間、計一週間。彼岸の期間中は、六波羅蜜の行を修め、日々の生活を反省するという習わしです。

人が人の死を悲しみ悼む気持ちを形に残す営みとして人類は先祖を供養しお墓を建ててきました。それこそが人類が文化・文明を作り出すことになった初めての行為といえるでしょう。お墓造りは人類が人類であることの証です。日本の儒教仏教では、人は死ぬと精神をつかさどる魂(こん)と肉体をつかさどる魄(はく)に分かれ、魂は天に昇って浮遊し、魄は地上に止まるとされている。お墓は魄が眠る地上の住まいです。

お墓とは何か。この世に生きる人の心の拠り所、精神生活の基盤なのです。

お墓は死者を供養する為だけのものではなく、この世に残された人の心の拠り所として大きな意義があります。そこに集い、報告し、感謝し、家族の歴史を語り継ぎ、先祖を敬う気持ちを育む大切な場所です。子供たちに人としての正しい心、生き方を教えていくところ。

亡くなった人を偲び、その人が持っていた徳や能力を称え想いを語るところ。新たな勇気をもたらすところ。お墓は心を繋ぐところ。家族の絆。心の故郷です。

写真やビデオ手紙など遺してくれたものたくさんあるでしょう。でも、同じ時を過ごすことはもう二度と叶わない。それでも、あなたに会いたい。そんな時、人は墓を尋ねるのはいででしょうか。

ニコボックス報告(3050回例会)

大澤君の卓話を楽しみにしております。会長 青山稔、幹事 鈴木光彦 ようこそ、クエンさん！会長 青山稔、幹事 鈴木光彦 お祝いありがとうございます。50 才になりました。まだバリバリと頑張りますので宜しくお願い致します。一山清二
皆さん、なおざりにしていませんか、ご先祖の霊を。今日は供養とは何をお話させていただきます。よろしく願い致します。大澤英雄
加藤光哉君に大変お世話になりました。加藤令吉
私共の会社の陶磁器絵付け体験施設(スタジオ 894[ヤクジ])のプレオープンと重なり、例会を欠席させていただきます。観光活性化に少しでもお役に立てればと思っています。皆様もご家族で気軽に足を運んでいただければ幸いです。鈴木政成
無事に初孫が生まれました。女の子です。ハーフですので名前は「蒔田サ

マー」です(笑)いじめられない事を祈ります。藤田哲安

大澤英雄君の卓話を楽しみにしています！

青山貴彦、一山清二、稲垣孝幸、井上博、江坂正光、大竹一義、刑部祐介、小野隆浩、梶野輝雄、勝谷哲次、加藤五津美、加藤捷、加藤唐三郎、加藤眞言、加藤光哉、加藤太伸、加藤陽一、加藤令吉、金谷康正、亀井勝、草野真吾、小林稔、澤田武憲、鈴木伸、鈴木紹陶武、高橋信郎、藤田哲安、牧オサム、松村晋也、山本英雄、柚木猛

ドティホンクエンさん、ようこそ！

一山清二、刑部祐介、小野隆浩、加藤五津美、加藤太伸、加藤陽一、小林稔、澤田武憲、鈴木紹陶武、高橋信郎、藤田哲安、牧オサム、山本英雄、柚木猛